

CONTENTS

待ってます……………	5
Dream'n Dream'n……………	25
卒業旅行……………	41
おほえたてのふたり……………	57
かなしーアソビ……………	73
エスプレッソ・シンデレラ……………	89
誘惑シエスタ……………	109
ジューシー・エモーション……………	126
ハートはデリケート……………	145
気持ちいい発見……………	165
あとがき……………	182



オレンジコミックス



成年
コミック

Yutaka Taraka
田中ユタカ

気持ちいい発見



気持ちいい発見



田中ユタカ

成年
コミック

雄出版

▶キスから1年を経て初めての体験!!◀

待っ て ま す



ザザザ

綾先輩
やっぱり
都会の大学に
決めたんですか？

ええ…

じゃ
来年の今頃は
もうこの街に
いないですね

あの…先輩
オレ先輩のこと…

なに？

いえ…
いいです

オレにとって
先輩って
永遠に手のとどかない女
っていうか…
そんな感じなんです

そんな…

さびしいこと
言っちゃ
いやです

ザザザ



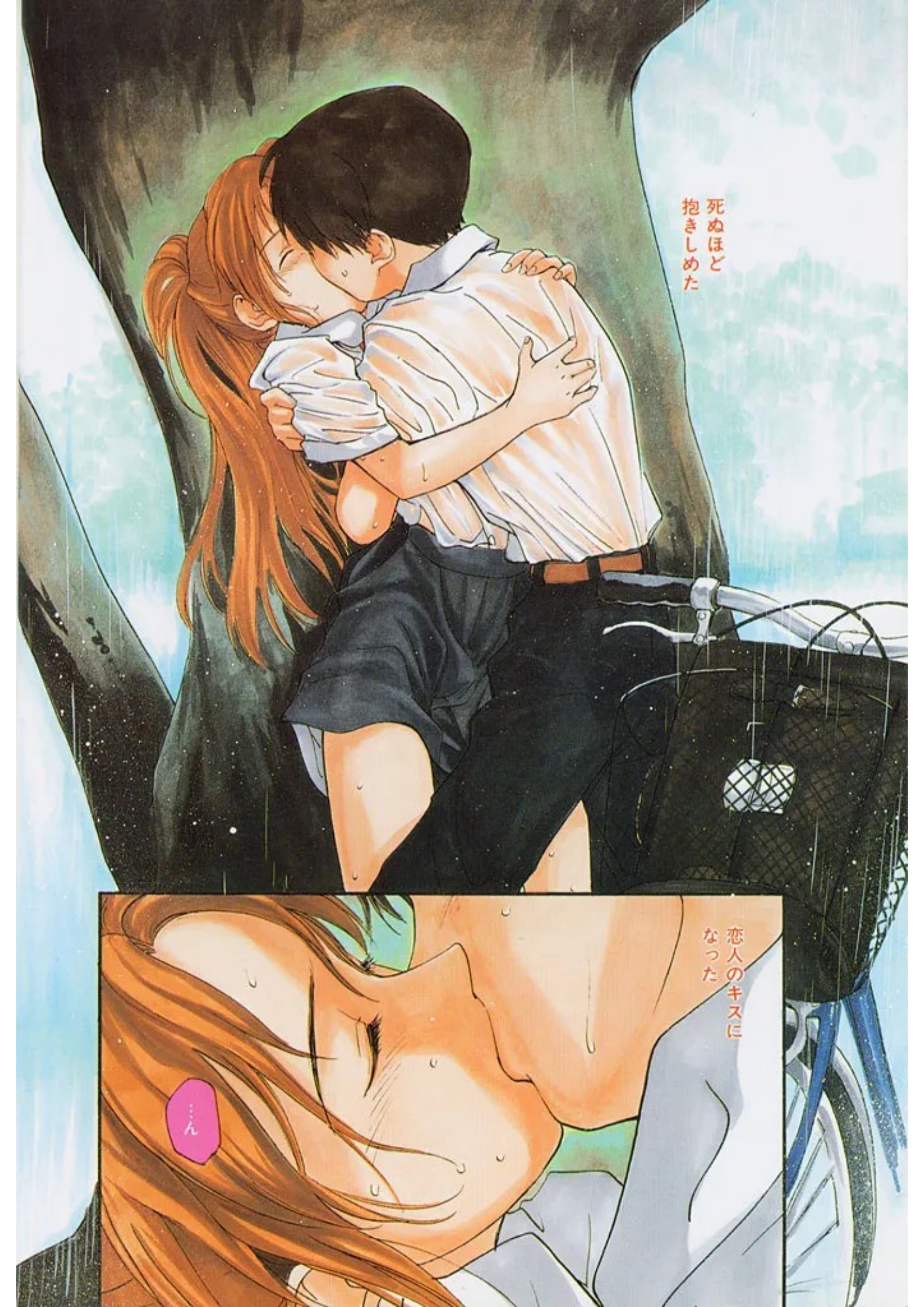
わたし

手なんて
簡単にとどく
女メですよ



はじめて
先輩とした
キスは…

ガッ
アア

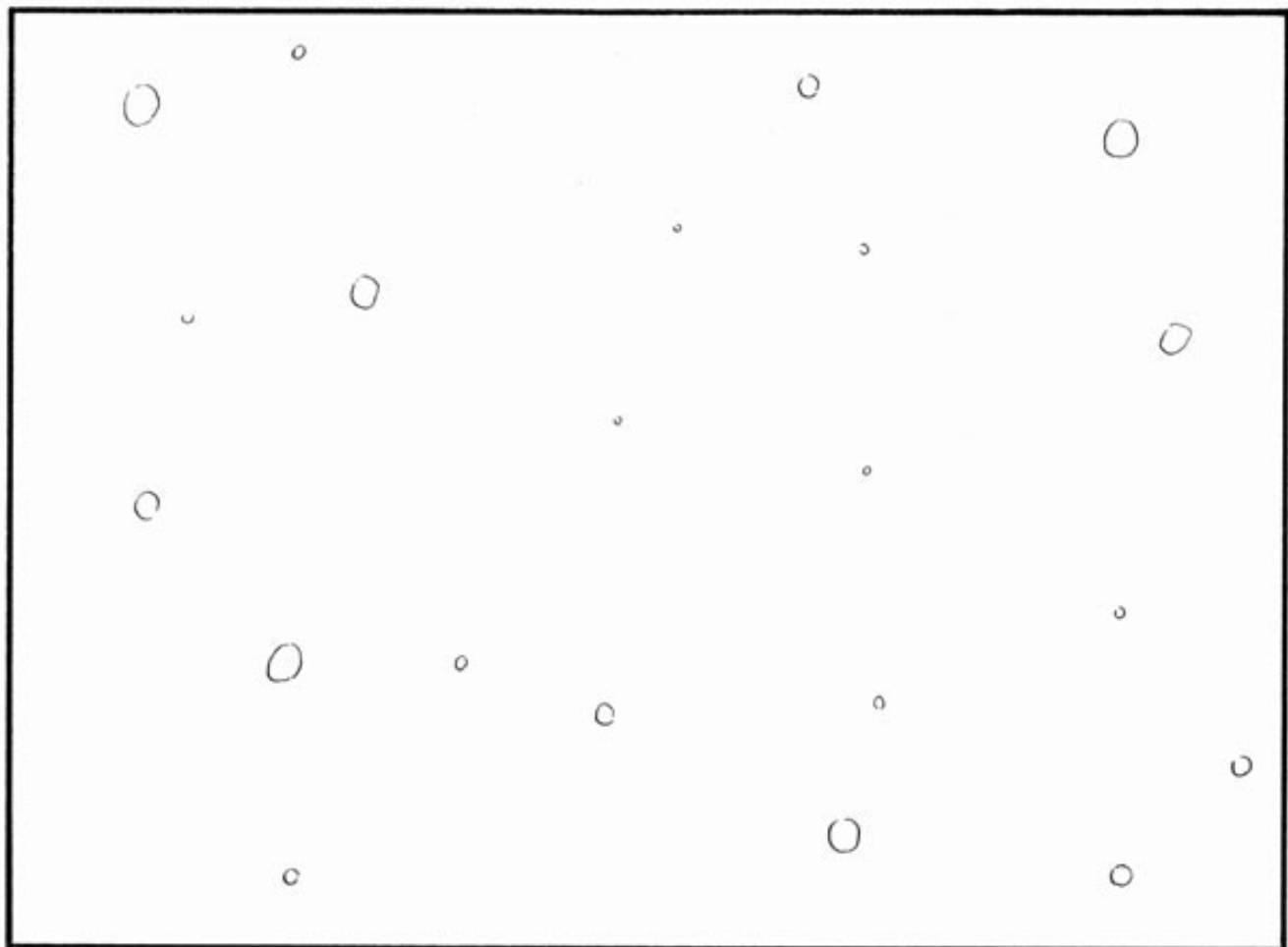
A young man and woman are embracing on a bicycle. The woman has long, reddish-brown hair tied in a ponytail and is wearing a dark blue short-sleeved shirt and black shorts. The man has short black hair and is wearing a white short-sleeved shirt. They are positioned under a large, dark tree trunk. The background is a soft, hazy blue and green, suggesting an outdoor setting. A bicycle basket is visible in the lower right corner.

死ぬほど
抱きしめた

A close-up illustration of the woman's face. She has a serene expression with her eyes closed. Her long, reddish-brown hair is visible. A small pink speech bubble with the character 'ん' is near her mouth. The background is a soft, warm orange and yellow.

恋人のキスに
なった

ん



ダメだった
オレ：先輩との
約束を
まもれなかった



綾先輩
成人式
ふりそで着るん
ですか？

いいえ
それまでには
むこうに
もどらないと

やっぱり
雪がなくなっちゃ
冬の感じがしませんね

サウ

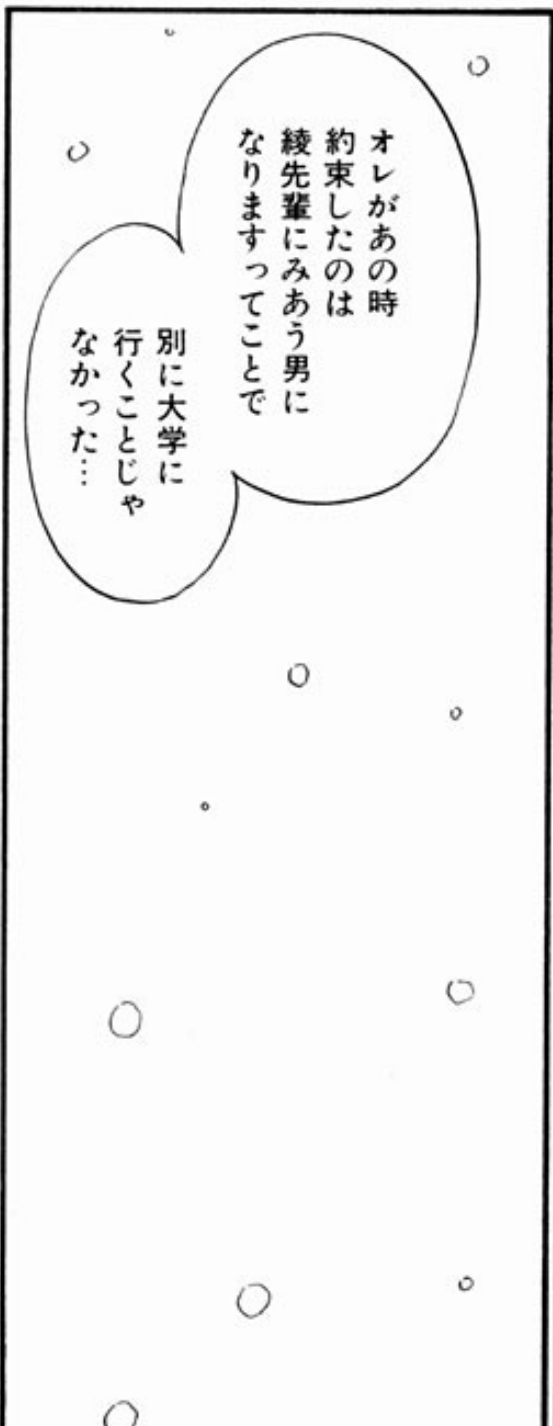


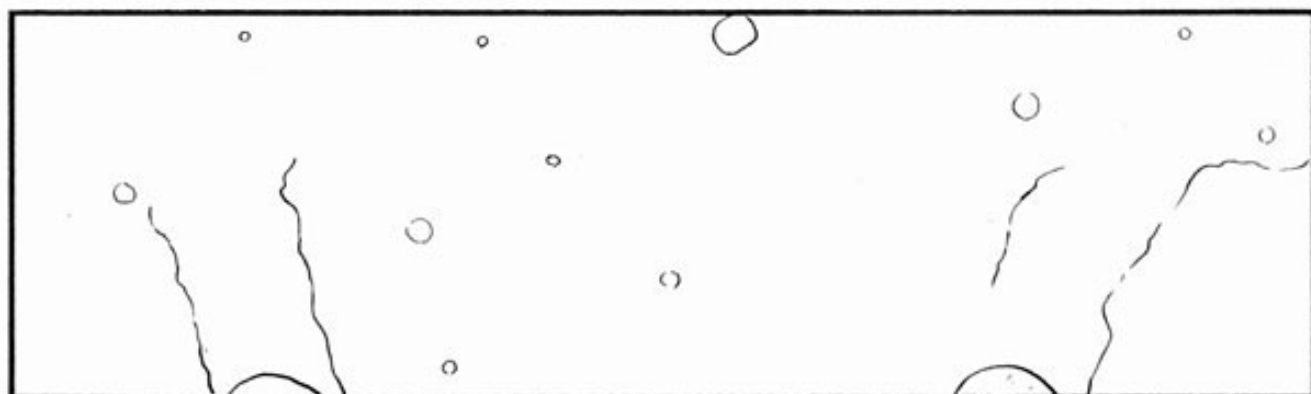
センター試験
もう目の前ですね

がんばって
ください

これだけ言ったら
退散するつもりです
足ひっぱっちゃ
いけませんから

ええ……
すみません

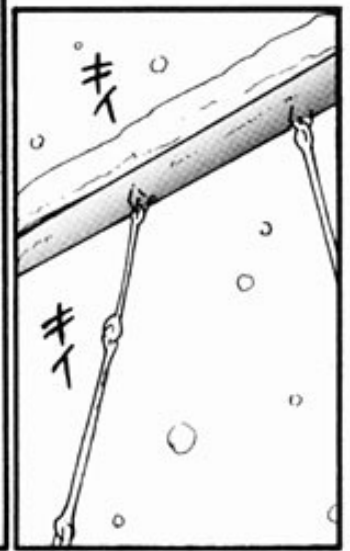






今から
いっしょに
ラブホテルに
いきませんか？

ねえ…



キ

キ



ガ
ガ
ガ



ちょっと!!
やめてくださいよ!!



先輩…
何…考えてんです？



ドライブに
さそわれて…

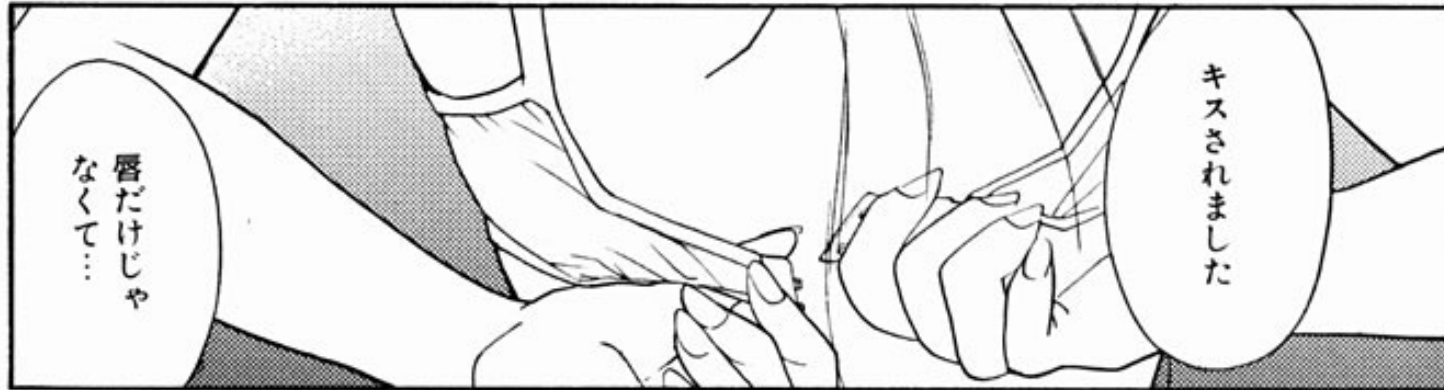
なくさめて
くれようとか
そういうのだったら
本当にやめて
ください!!



ドライブに
さそわれて

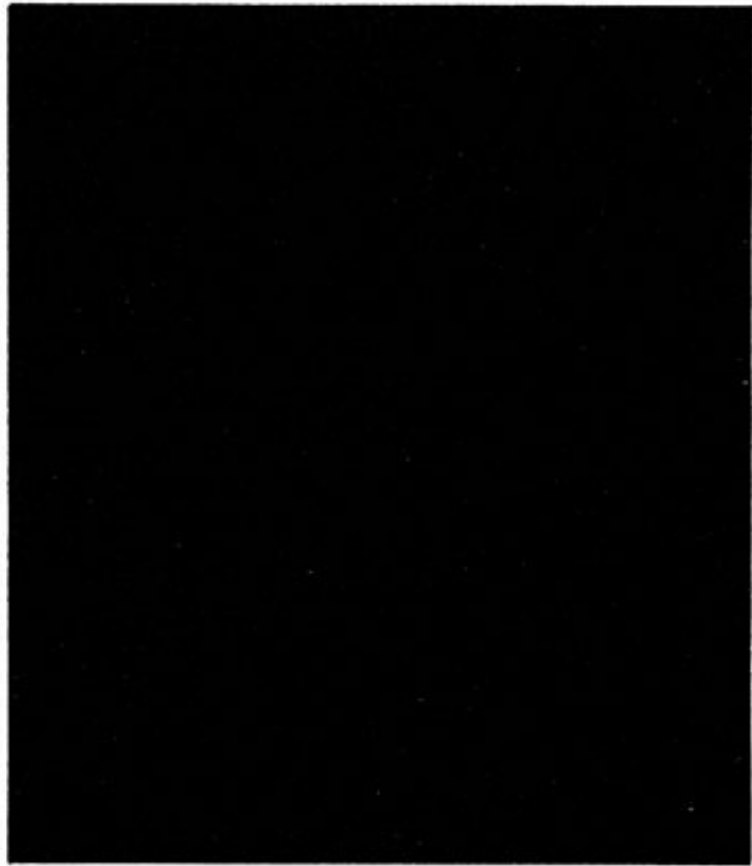


オレそんな
価値ないです!!



キスされました

唇だけじゃ
なくて…



裸の胸にも…
キスされました





同じ大学の
4年生で
春から社会人
になる男


真面目なんですけど
自信家で
少し強引で…
半年くらい前から
ずっと「好きだ」って
言われて…



わたし
心が揺れて
ます

わたし…





あなたを
待っていていいの？

あなたを
好きでいて
いいの？







はあ
はあ
女の子
ですから…

はッ…

はッ…

はあ

…すこ



ああッ

女の子
なんだから！



うおおおおお

ああ…

あ…

はッ

はッ

はッ

先輩!!

あ…っ…



んんッ

んッ

んぐらッ

好きです!!

好きです!!

好きです!!

ふあ...
あ...

好きです!!

好きです!!

あッ!!

あうらッ!!

先輩!!

ひッ...
イツ...

いくらうらうらッ!!



あ…

あああ…

はあああああ
あああああッ!!



先輩
オレ…



春には
そばに
行きますから

はい
先輩も

ええ…

すみません
見送りに
行かなくて



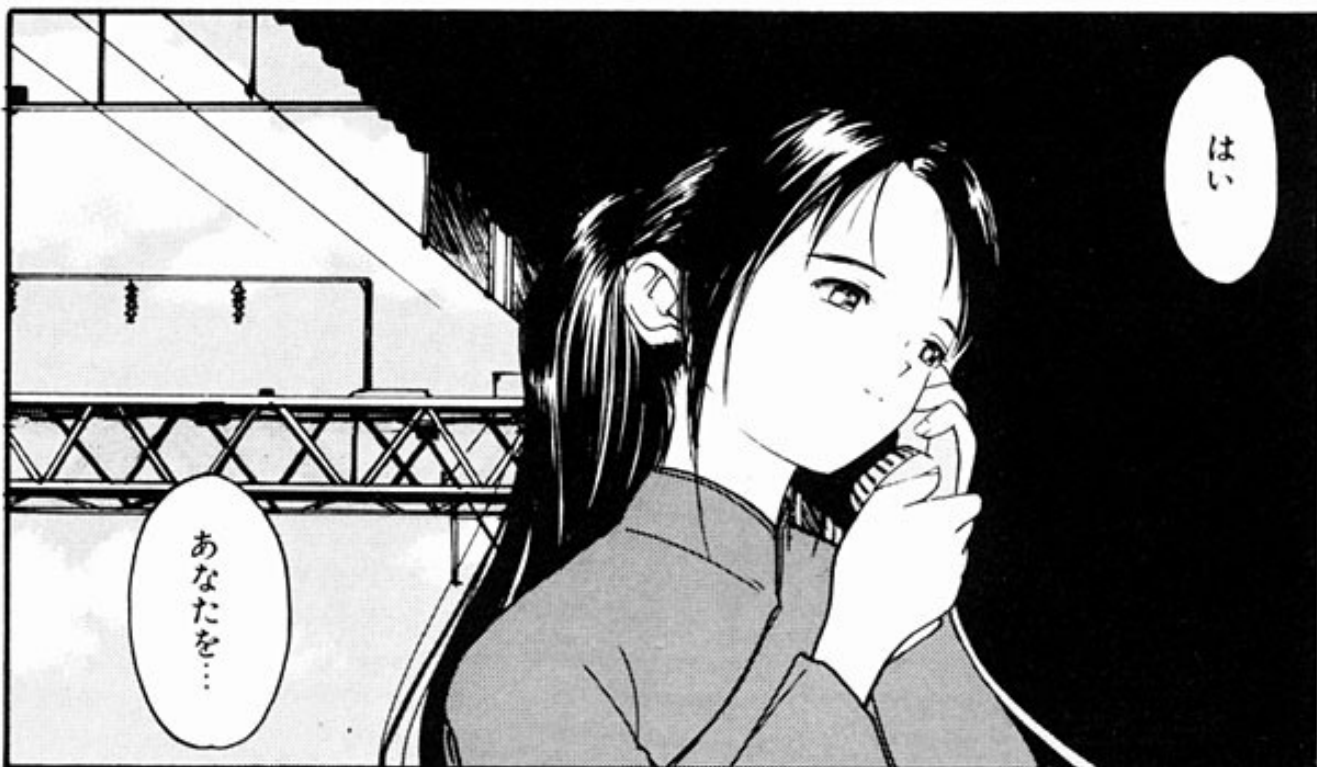
先輩!!

オレ…先輩を
誰にも
わたしません
からね!!



いいえ

じゃあお体に
気をつけて
がんばってください



はい

あなたを…

「待ってます」

◎隣のあのコが僕の恋人になる日!!◎

ドリーミン ドリーミン

Dream'n Dream'n





え…



ボクはついに
祐香に告白した

ストレートに
飾りをつけずに
「好きだ」と一言

祐香の
返事は…



少しの涙と



熱いキス
だった





ちくしょう...
夢の中でなら
ちゃんと見えるのに

また...か



カーテンを開けると
すぐ目の前が
祐香の部屋の窓

なんせ
幼稚園の時から
ずっと隣同士で

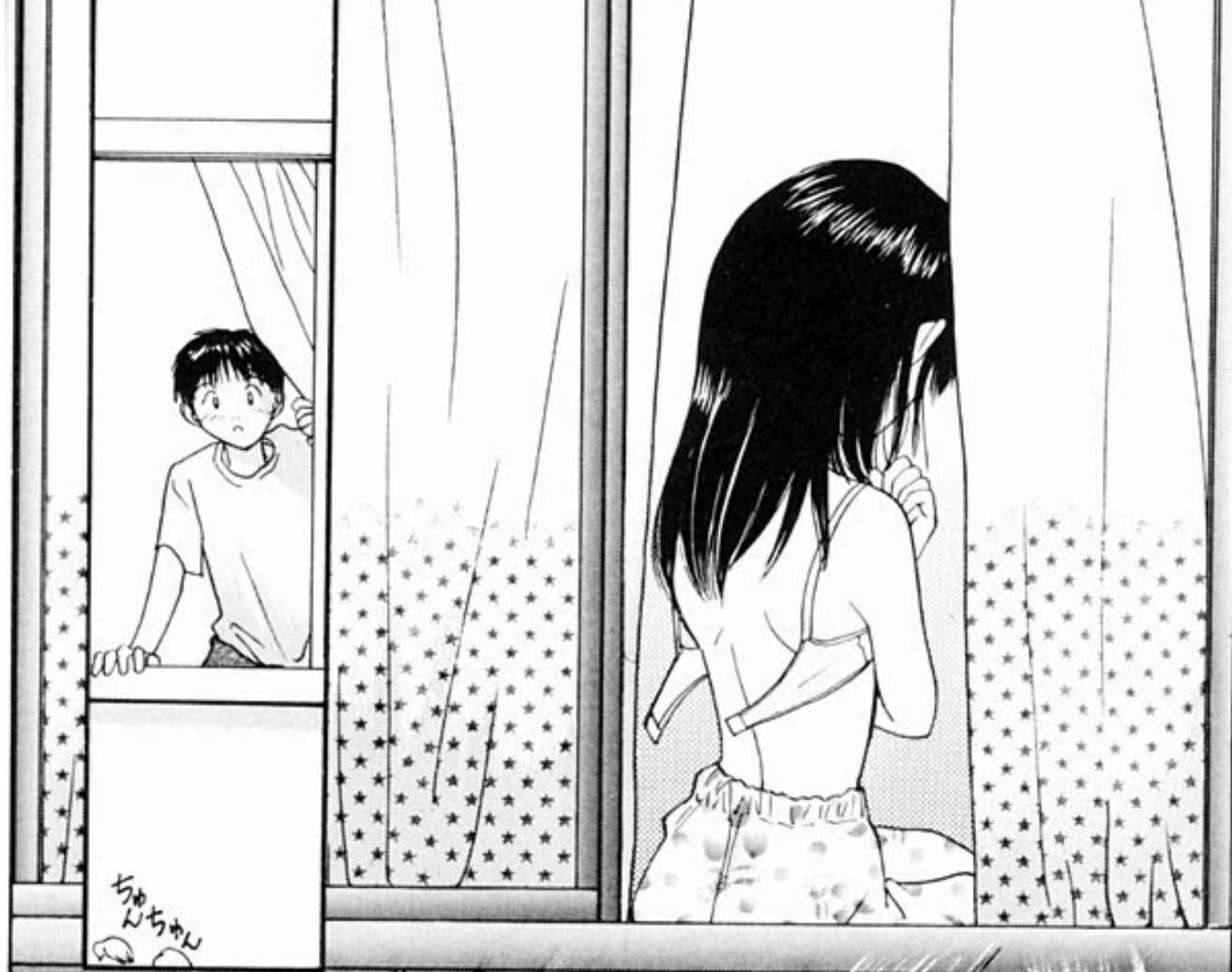


が!?



現実は
今さら「好きだ」
なんて言えないよなあ

近すぎるよ...



祐香…

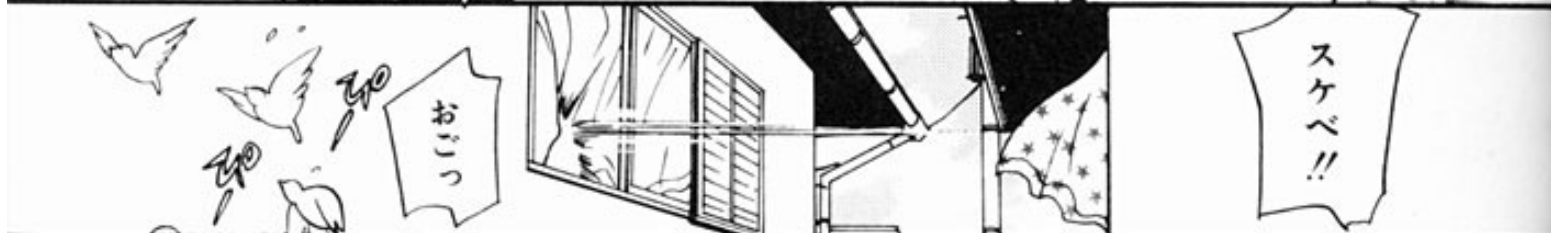


あ…あ
祐香…



コラあ——ッ!!

まさみ
雅実イ!!



おごっ

スケベ!!



いつも
仲いい——っ

祐香——
夫婦ゲンカ
?!

冗っ談ッ!!



白状なさい
いつも
のぞいてたの!?

まったく
油断もスキも
あつたもんじや
ない

今日だけだよ
ワザとじゃない
アクシデントだ

こいつとは
ただの幼なじみよ
ただの!!

たまたま
家が隣だけ
それだけ
なんだから



町内の温泉旅行で
うちの親も祐香の親も
留守

告白する
チャンス...なんだろうな

あのカーテンの向こうの
祐香に「好きだ」って
言えばいいんだ...

夢の中だったら
……

言えるのに

え……？

何？

だから……

好きなんだよ

ずっと前から
幼なじみとして
じゃなく

ちょっと待って！
そっちに
今行くから！

はあ

はあ

雅美…

あたし怒ってるからね…



そんなはつきり言われ
たら

あたし
どんな言葉で
応えたらいいの
よ!?



言葉じゃなくて
いい

ぎや…



あんたズルいッ!!

いきなり「好きだ」なんて言われたって



祐香は
応えてくれた

だめよ

やっぱり
いきなりなんて
なし…

祐香

だめだってば
あたし普通の下着
しかつけてないから

脱がすよ

そ…そんな





おねがい
心の準備が
まだなの!!



ここで

今夜

どうして?
ボクたちは
もうずっと長い間
すぐそばにいたん
じゃないか

恋人になろう



今朝までどおりで
いいと思うよ

でも…でも

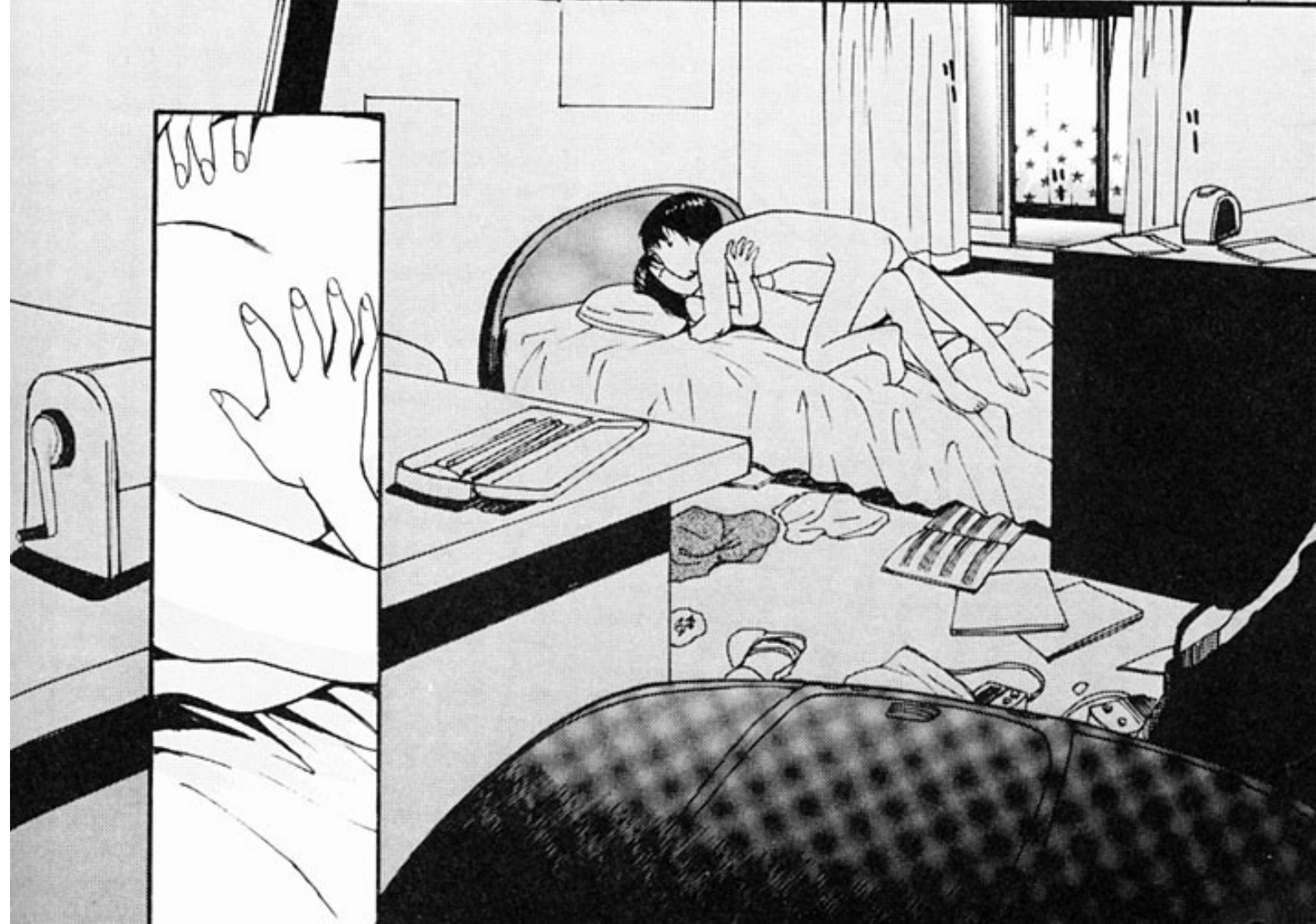
明日から
どんな顔して
あなたに会えばいいのか
わからない

だって…



祐香にとって
ボクは
本当にただの
幼なじみだった？

……





はあ...

はあ...

はあ...

いっぱい濡れてる
かわいいよ

くちゅくちゅ



ん...

ふ...



あは...あ...

あ...

入れるよ

ホント言うと
あたし…

うん…

ね…雅美…

ずっと
こうなるのを

夢に見てたの





祐香!!

あああッ






◆ハートに染みる淡い恋の☆毛リアル!!◆

卒業旅行







何してんのよ？



あのさ...
やっぱりちょっと
マズくない？



何がよ？
せっかくの
混浴じゃない



こんな時間
他に誰も
来やしないわよ



同級生たちも
ほとんど学校に出て
来なくなった
最後の3学期の終わり...

ボクと渚は
ふたりだけの
卒業旅行に出た

う~~~~
さむ
さむ
さむ

すっごい
雪だなあ

ふい—
極楽
極楽

こんなところで
温泉につかっていたら
まるで熊か猿
みたいだ

こら
タオル湯舟に
入れるの
反則だぞ

おわっ!!

やーい
トモアキ
裸んぼ

わあっ!!
ちよっと!!

ちよ
ちよ
ちよ

ちよ



星がすごいね
ホントに
降ってくるみたい

うん…

ふう



今ごろ
クラスのみんなは
受験で大忙し
なんだろうな

…そうね



あれ？

者？

ボクたちは
ふたりとも
大学には進まない

ちや
B10



水着は…？

んふ—
実はあたしも
裸んぼ

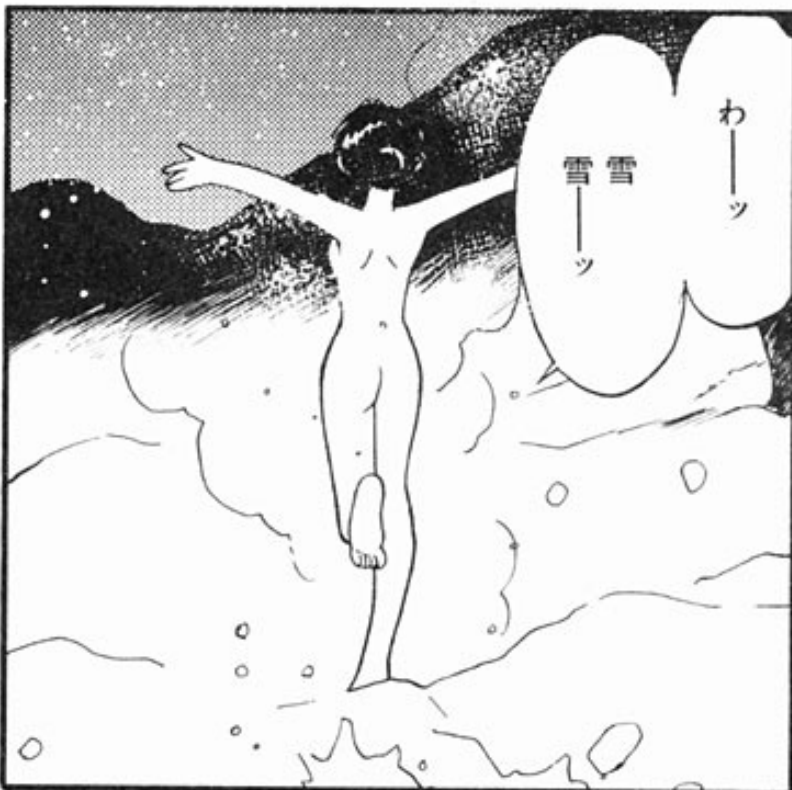
ね…
トモアキ…

こうしてると
なんだか
この世にあなたと
ふたりだけに
なつたみたい

おねがい
まじめに言うから
笑わないで
聞いてね

何？

そうだね
ホントに



卒業旅行





トモアキの指って
どうして
こんなにやさしくて
気持ちいいのかな

はあ...

アソコの中
くちゅくちゅされると
はにゃあ~~~~って
なっちゃう



あたしのアソコには
愛があるもん

ボクもこうすると
指から身体中に
気持ちいいのが
伝わってくるんだ





あッ!!

あッ



うん...
うん...

いっばい
伝わる...

感じる?

ボクのアソコにも
愛があるの
伝わる?



はああッ

あああッ

渚 渚
!! !!

激しい

あッ
あッ
!! !!



あッ
あッ

すごい...

きれい



ふたりの熱で
まわりの雪が溶けて

あうう!!

あうう!!

白い湯気になった

ああああ
ああああ!!



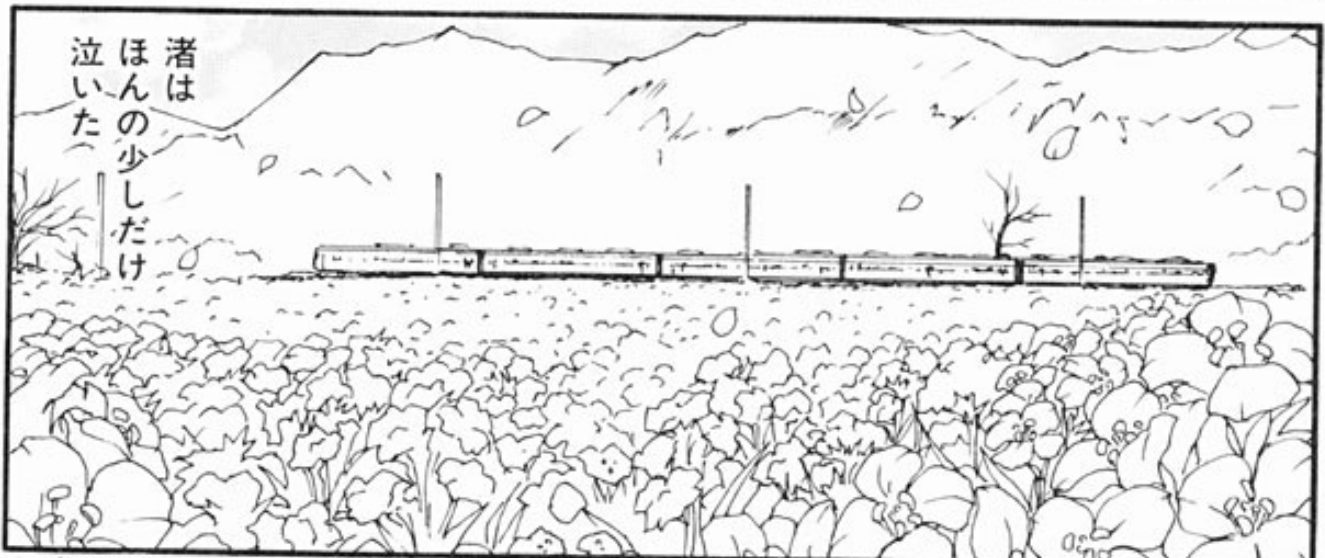
ボクと者は
卒業後は
まったく違う道に
進むことに
決めていた

ふたりで
しっかり
そう決めたんだ

帰りの
汽車の中で



者は
ほんの少しだけ
泣いた



♥恋するふたりのHは止まらない!!♥



おぼえたてのふたり





Hタイムが
なくなっちゃう



ふざけてないで
掃除——ッ!!

イテッ



さっさと
終わらせないとお
……



Hの味を
おぼえたての
ボクたちは……

ダーシュ!!
ソツコー!!



うん
恋の神サマって
いるんだよ

同じ当番に
なって
ラッキーだな

したくて
したくて
たまらないッ!!



とにかく
もう……!!



あー
小春のおしり
まんまる

すす

もーッ



ちよっと以前まで
赤くなって
手もにぎれなかった
くせにイ

小春だって
「ヘンなことしたら
ひっぱたく」って
いつも身構えてた

もーッ
男の子って
や!!





やった♡


ハッ...

今日の
パンツのしみは
一段と大きい

上手になったね
.....







あはははッ

そんなに
うれしいか？



はッ...

はッ...

あ...

あ...

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

小春...
小春...
小春...





んあ...あッ

あッ...あッ

好きい!!

あッ
あッ
あッ

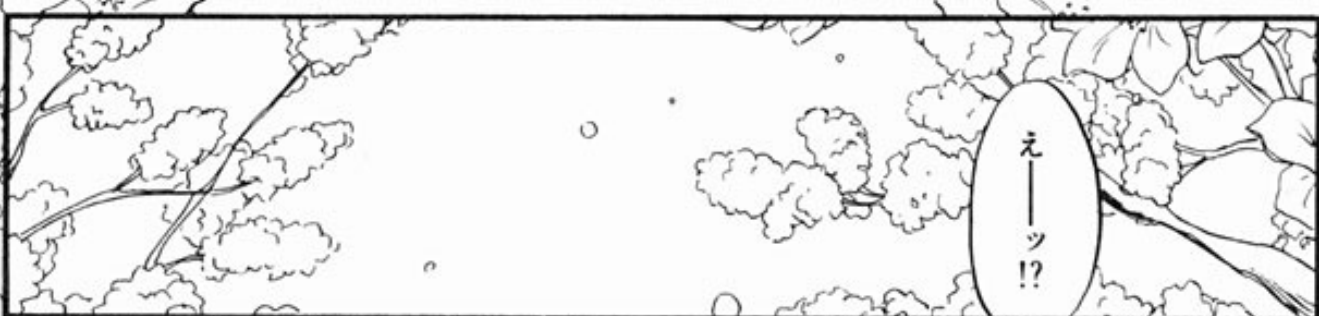
あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ



好きいいい——
ツ!!

好きいい!!
好きいい!!



え——ツ!?



寒い!?
寒いの!?

う——
寒う

雷?
今頃オ?



★今日はどんなHをして楽しもうか!★

かなしーアソビ





う...

はあ...

はあ...

はあ...

ガタン
ガタン
ガタン
ガタン

やっぱり
だめだ…
こんなこと!!



杏香ちゃん…

はあ

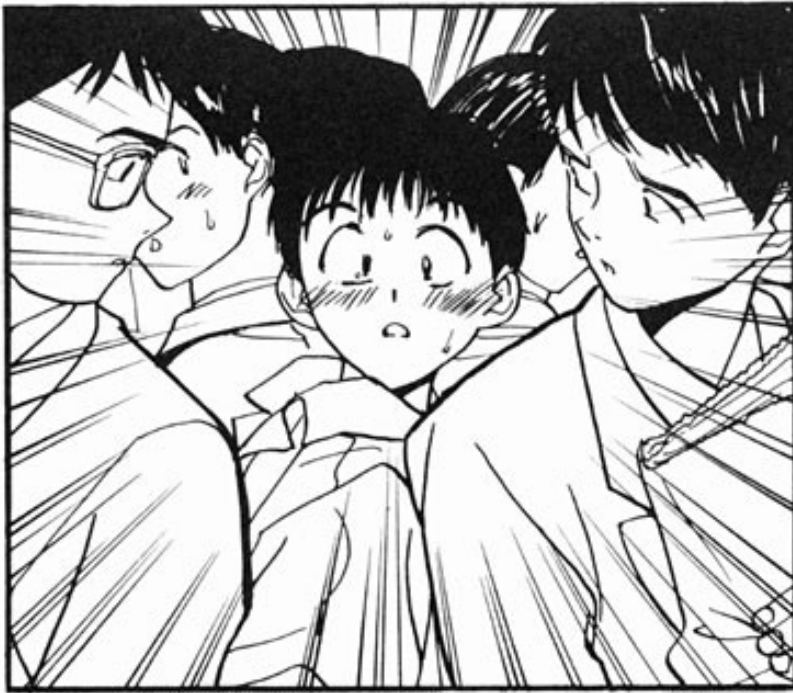
はあ

はあ



はあ

はあ





おもしろかったね

チカッゴッコ



つき合い出したら
わからなくなるな

杏香ちゃんて
どんなやつなんだ？



もういやだよ

ずっと遠くから
あこがれていた
杏香ちゃんだけど…

大丈夫よ
イザとなったら
何もされてませんって
あたしが言うから



なんで普通の
エッチはイヤなんだよっ
あんなヘンな遊びは
さんざんするくせに

こんなのヘンだよ
おかしいよ

ニヤッ
ニヤッ



よくない!!

いいじゃない
ああいうの
のほうが
おもしろいでしょ

シッ
シッ



なんだよ
それじゃボクは

杏香ちゃんの
ただの
遊び相手か?



あたし
あんまりマジに
恋人ぶったこと
するの…
キライだから





何が本気よ!!

恋なんていつか必ず
終わっちゃうんだから!!

こわれちゃうんだから!!



あんまり
本気になると
そうなった時
かなしいじゃない!!

知らないくせに!!
胸の中が
血だらけになるのよ!!
かなしくて
死んじゃいそうに
なるんだから!!



はあ... はあ...











あ…

あ…

う…

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ

ちゅ

ものすごく
熱いのが
噴きだしてくる
顔びしゃびしゃに
なりそう

じゅ
じゅ
じゅ

あ…
あ…

ホントは
あたしだって…



おし...

.....

あッ!!

ああッ!!



あう

あうッ!!



杏香ちゃん!!

あう

杏香ちゃんが
とても
かなしい恋を
経験して
いたことは

ずっと
後になって
知った

たしかに
杏香ちゃんの
言う通り
どんな恋でも
いつか必ず終わっちゃう
のかも知れない

そう

やめたの

あれ
コンタクト?

メガネやめたの

でもこの恋は
いまやっとな
はじまったんだ!!!

●元気印100パーセントの喫茶の娘!!●

エスプレッソ

ミニデザート



学校を卒業した
春休み

いらっしやいませ

open

ボクは毎日
となり街の
小さな喫茶店に
通っている

今日も来て
くれたのね

う……うん

このコに
会うために!!

七穂ちゃん

ご注文は
いつもので
いいかしら?







どうせ後の
カラオケ大会が
目あてのくせにイ

うん
もう!!

おねがいね

カラシ



ね



じゃ…ボクも
そろそろ
帰るよ

客だったって
ボクひとりだし

がハッ



いいのよ
修くんは!!

ゆっくりしてって



結局…何も
言えないまま

あきらめちゃった
……

ね…
あたし
変わったかな？

うん…
ホントに
別人だと思った
……

コンタクトだし

ち…ちょっと
お化粧してるから
……

ううん
そうじゃなくて

生き生きしてて
何て言うか…
すごく…

セクシーだよ





ぎゅっ

あ…

んんん

七穂ちゃんのムネ
カッコイイんだ

やだ…





修くんのまえでなら
あたし…

ドキ
ドキ
ドキ

うんと
大胆になりたい!!

ドキ

ドキ

ドキ

七穂ちゃ…!!

あたしを
感じて…

ドキ

あ…

あ!!



あうッ!!

びしょ
や

ふう...

七穂...ちゃん
すご...い...

ふう...

ポト
ポト





うふうッ!!

やけどしそうなのが
あふれてくる

くちゅ

くちゅ

ぷる

ぷる

イツちやえ!!

んく

んく



大好き!!

あッ!!

あああッ!!

七穂ちゃんの
小さな穴は恥ずかしそうに
入ろうとすると
きゅっつつぼんだ

でも中は…


んくうっ…

こんなに

はッ

あッ

あうッ



はあッ!!

はあッ!!

燃えてたんだ!!







何かいいことありそな
君と僕の二人だけの夏休み!!

誘惑ニエスワ

あの唇とキス
したのか…

プルンてやわらかくて
気持ちよかった
なあ…

いいなあ
ほのかちゃん
の唇…

やだ
何見てるの!!

あの…なんで
ボクたち宿題なんか
してるの？

せっかくの夏休みで
今日は家みんな
留守で
ふたりつきりなんだよ

…それで？



バ…バカなこと
言わないでよ!!

エツチ!!

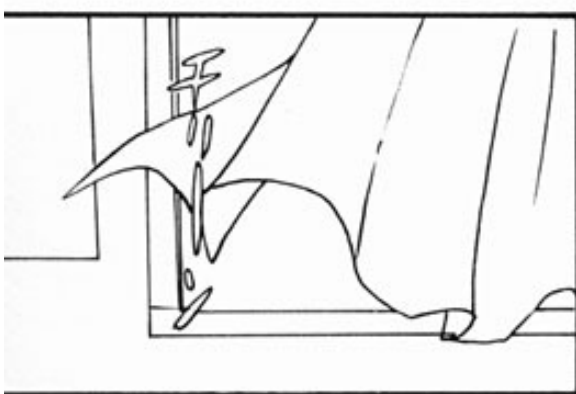


これって
もう少しドキドキなことを
期待できる
シチュエーションじゃない
かと…



ま…まじめに
やりましょ

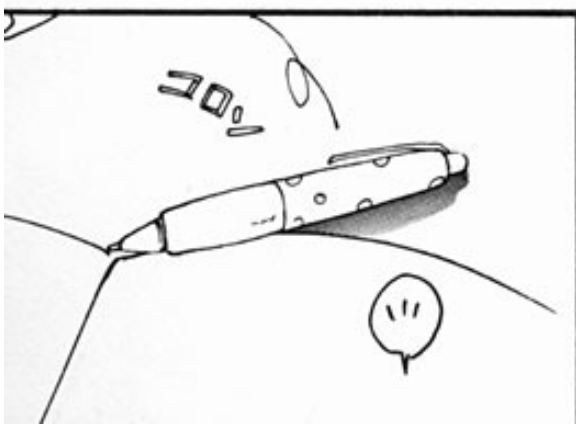
う…うん

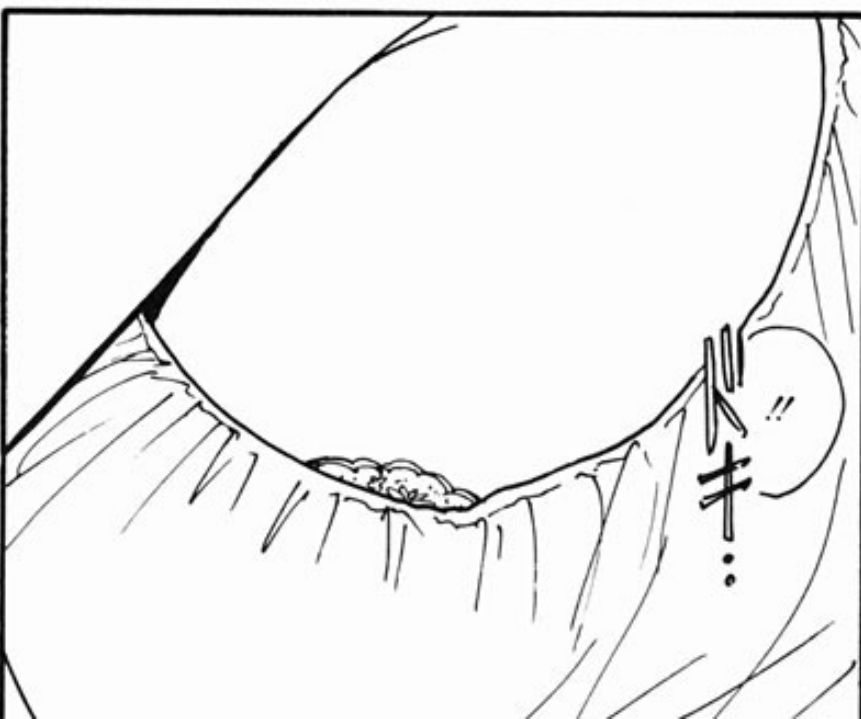


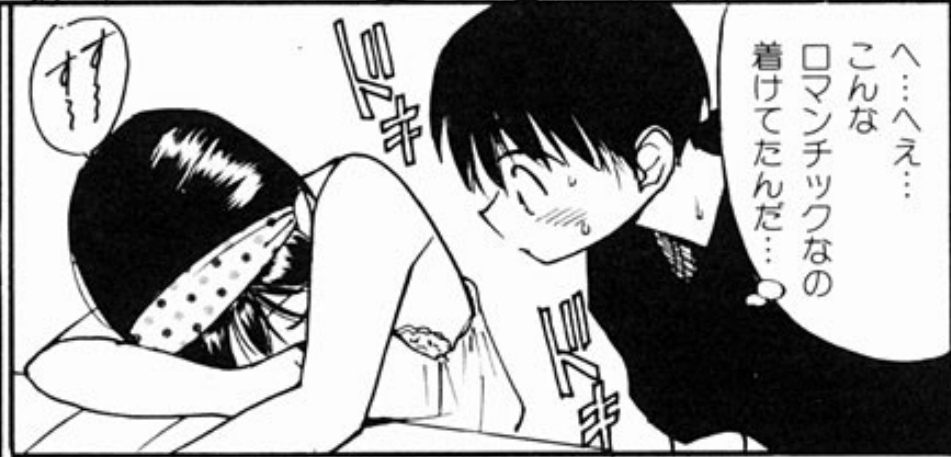
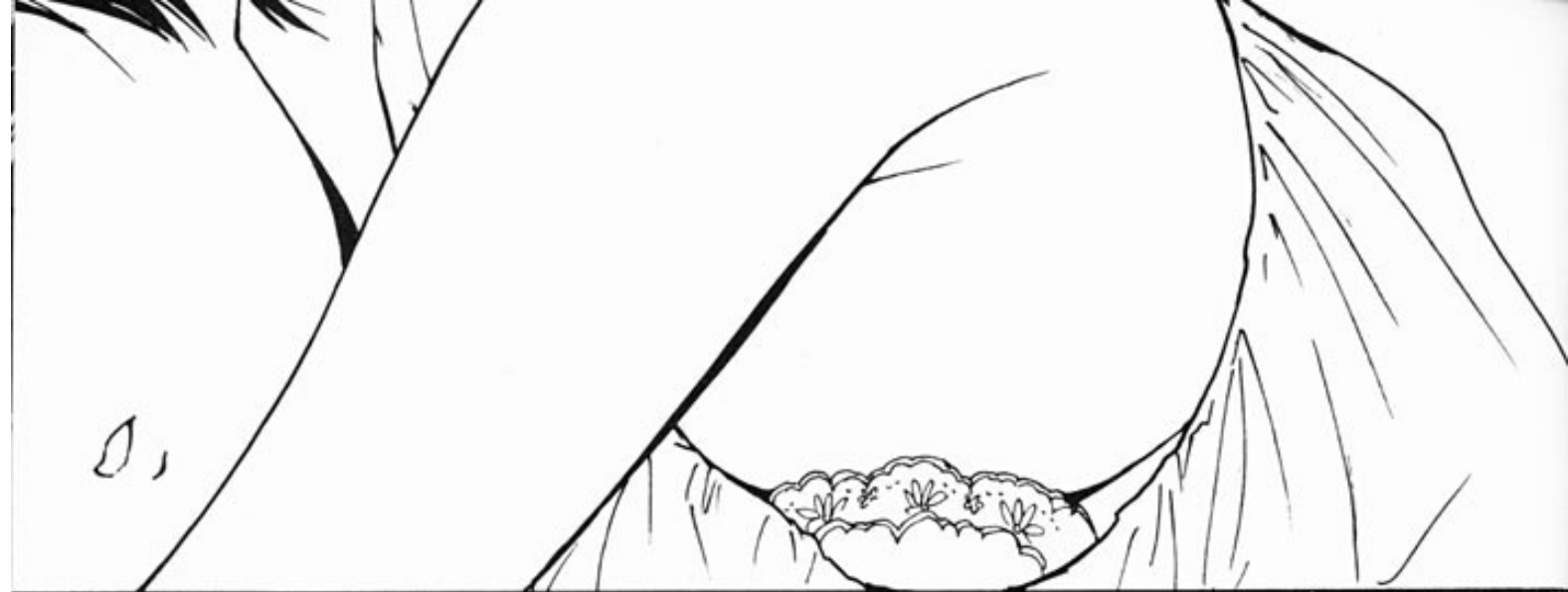
あ…あたしは
ただ宿題を一緒に
しようって
言っただけじゃない

へんな期待
したら
怒るわよ!!

あ…あめん











かわいい…

寝息が
腕に当たる
くっくっ



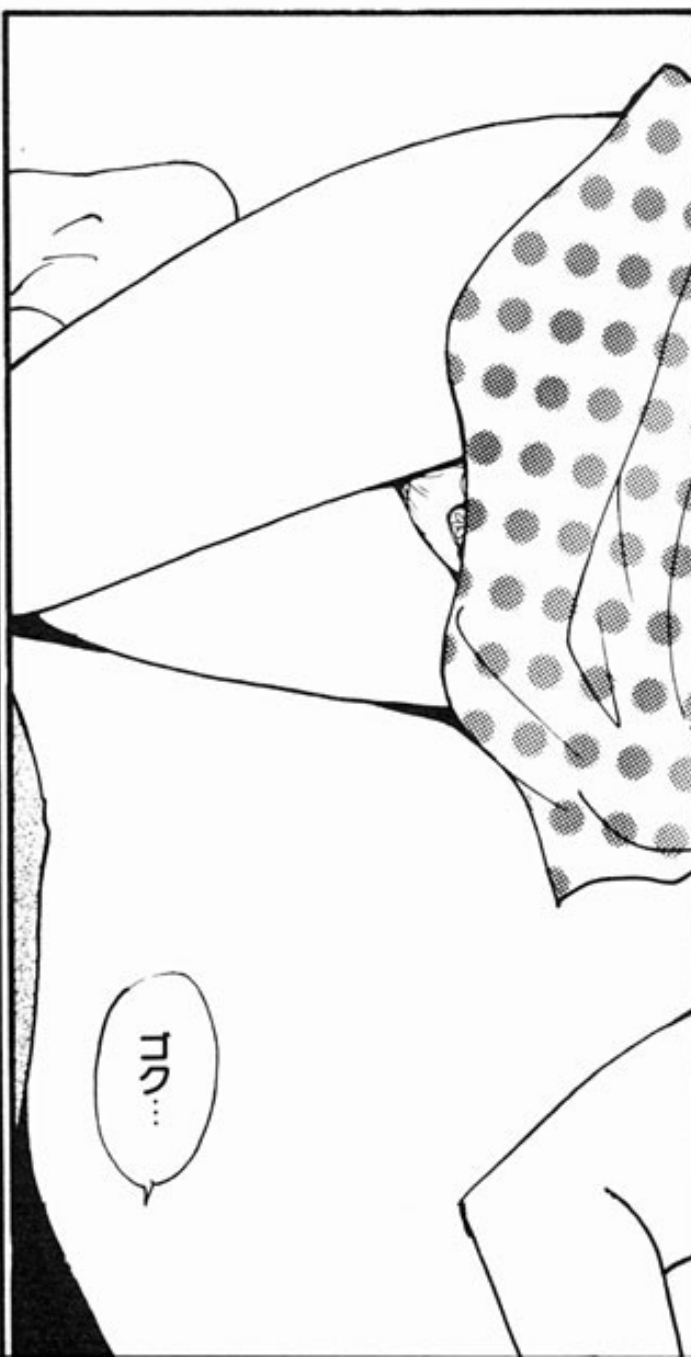
眠ってるよな
絶対



す…好きだよ
ほのか…
ん…♡

もっ

あ



ム…





腕まくらって

ねえ…

いい夢が
見られるみたい…



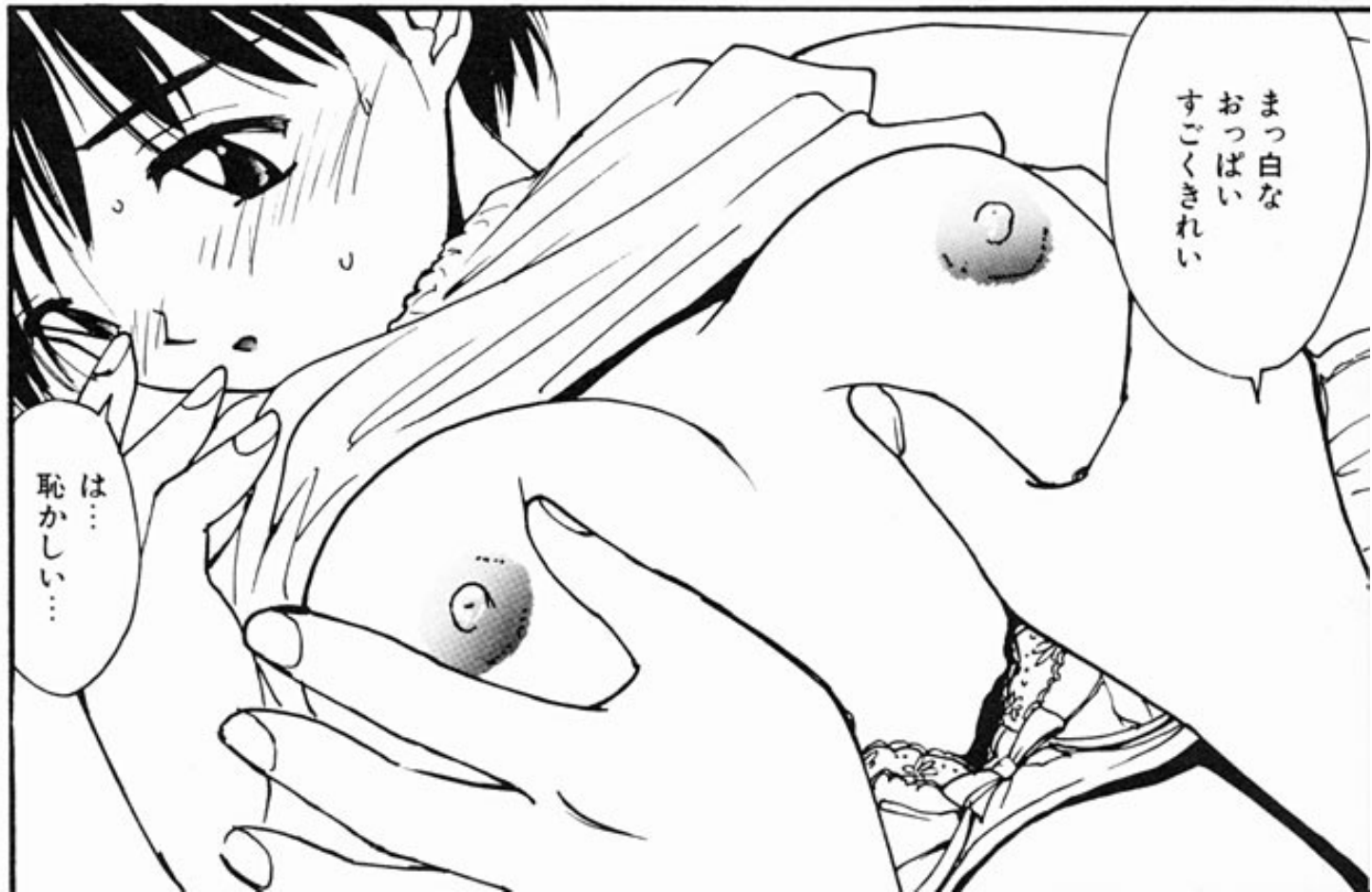
…そう

うん
気持ちよくて
しあわせな
夢だった…



夢の続き…
見せてくれる？

ん…
ん…





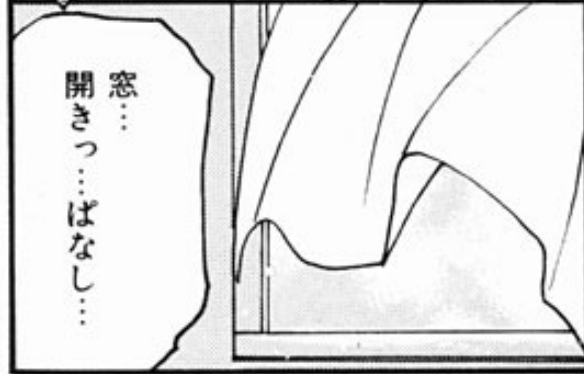




はあぁ

あぁッ

ほのかちゃんの
つましくて
熱い穴







夏休みの午後

そのあとボクたちは
全部裸になって
最高の昼寝をした



一ヶ月後

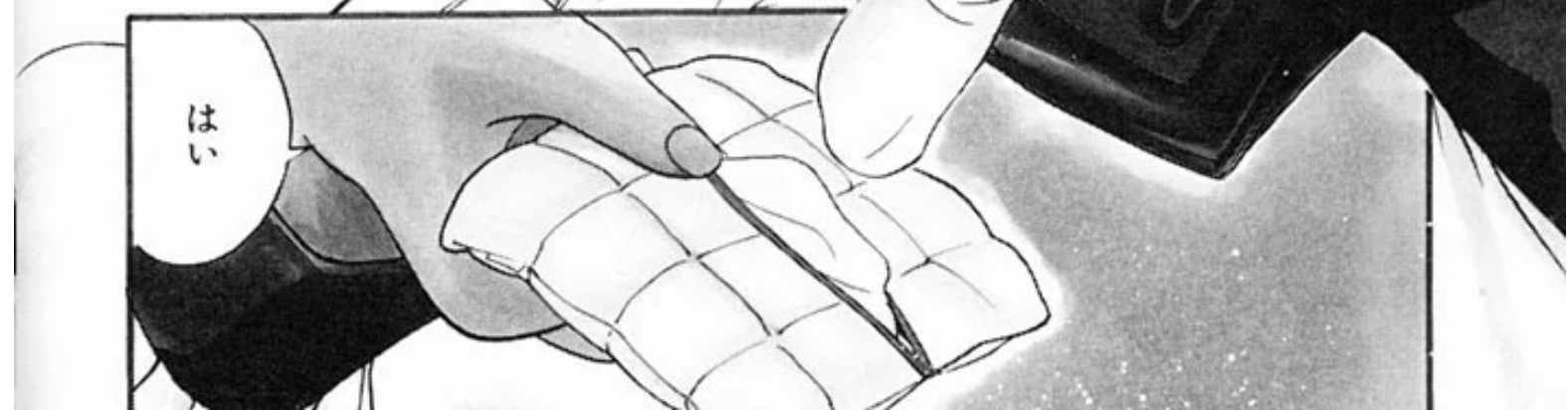
新学期は
明日なのよ
ッ!!

がんばって
ッ!!

うう...

ああ
夏休みっていいなあ...







ずっと友だちだった
涼子ちゃん…

オレ…恋愛感情なんか
持ってなかったはずだ

おー
でっかい
義理チョコ!!

え?

もー
そーゆー言い方しか
できない?

さっきだって

涼子ちゃんのムネって
意外と
カッコいいんだね

そう♡

でもそれ
寄せて上げてる
んだろ

いつもみたいに
ふざけてただけ
だったのに…



え!
さわらせて
くれるの!

きゅっ



こーら
スケベ

あー
やっぱり
上げてるんだな



バあーか
ホンモノだよ

失礼なこと
言ってるよ
さわらせてあげないぞ



あッ



あッ
あッ

なんで
あんなことに

うーッ!!

うーッ!!

初体験の感激なんて
全然ない

犯罪者みたいなの
うしろめたくて
みじめな気分だ

気づいたら目の前に
涙と鼻水だらけになった
涼子ちゃんの顔があった



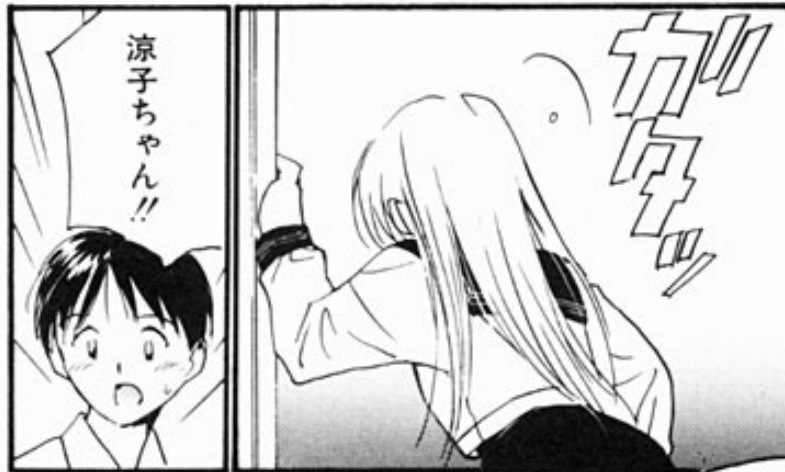
シューシー・エモーション



…ん

階段降りた
すぐそこだから
……

うん…
どうぞ



涼子ちゃん!!

ガッ
ガッ
ガッ



マサトくん

シャワー…
かしてくれないかな?



夜まで誰も
帰って来ないから
ゆっくり使うと
いいよ

うん…



大丈夫
大丈夫

つまりいた
だけ

か、に





他人の家の
フロ場で
ひとり
アソコを
洗ってるのか



そんな...!!



オレが
ゴムもつけずに
内に出しちゃったから



うッ...

うッ...

うッ...

!!!

涼子ちゃん...

!!!



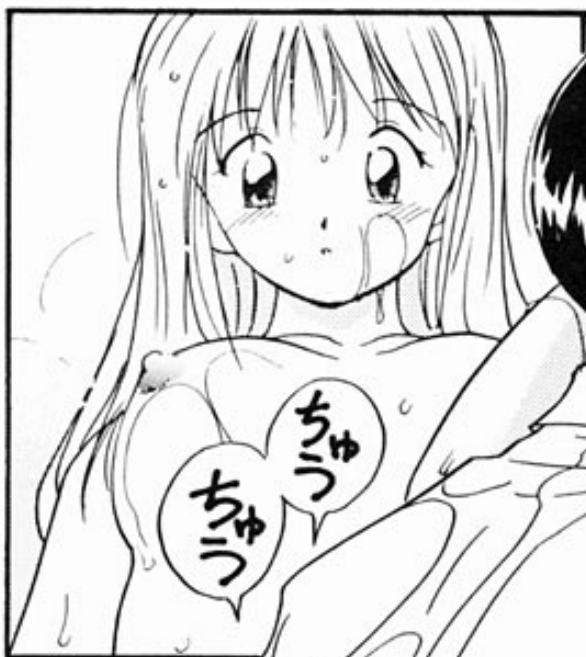
いやああ!!

涼子ちゃん!!

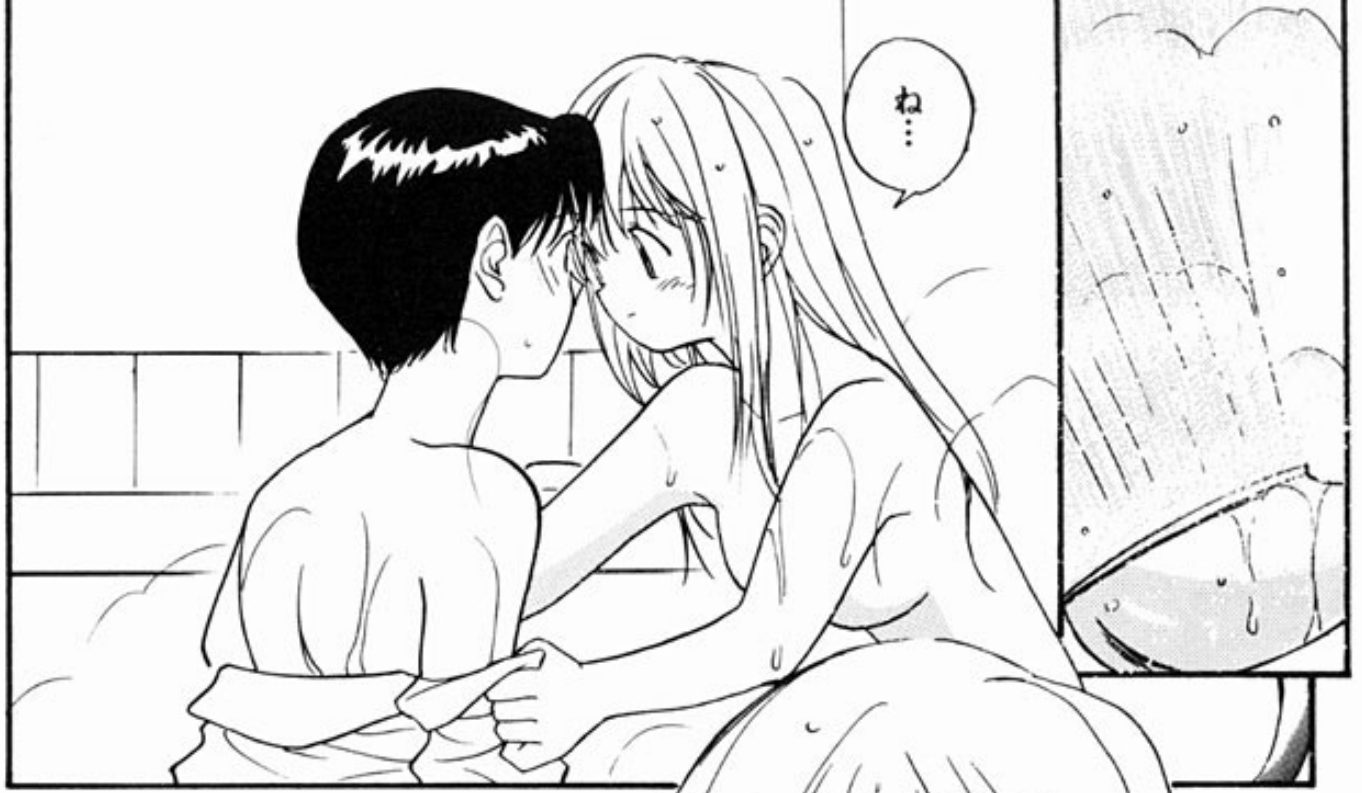
!!!













脱いで...

ん...



マサトくんの裸
ずっとさわりたかった
の...







来て…



ん…

ん…

ん…

涼子ちゃんは
血がでてきても
最後までアソコを
こすりつけてきて
はなさなかった

んああ…

あッ

オレは全部
顔にかけた

毛かき

あたしたち

愛しあっちゃったね

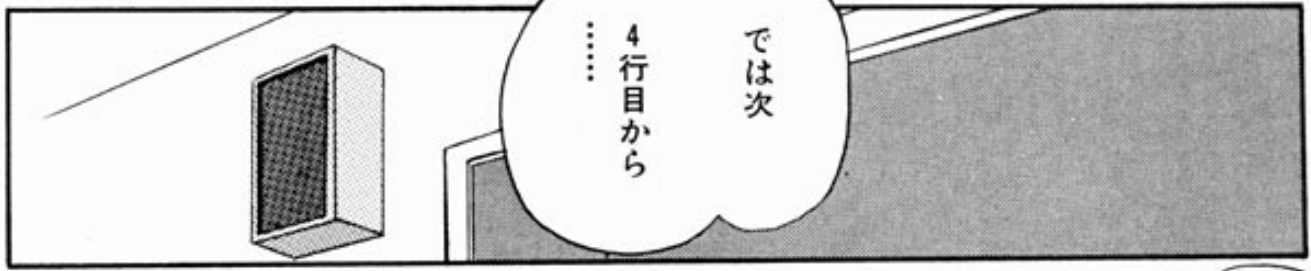
身体の中まで
涼子ちゃん感じて
じんじんしてる…

ねえ

▷ 僕の彼女はとびっきりの優等生!! ◁

ハ
ー
ト
は
ジ
リ
タ
ー
ト





では次
4行目から
……



やつべえ…



どーしたア!?
宿題
だったぞ!!

ハラハラ

は…は…



坂根!!
訳せ!!

は…!!

English II





早く
読め!!

はい!!

えー
「したがって
文化というものは
常に変容し…」

カ
カ

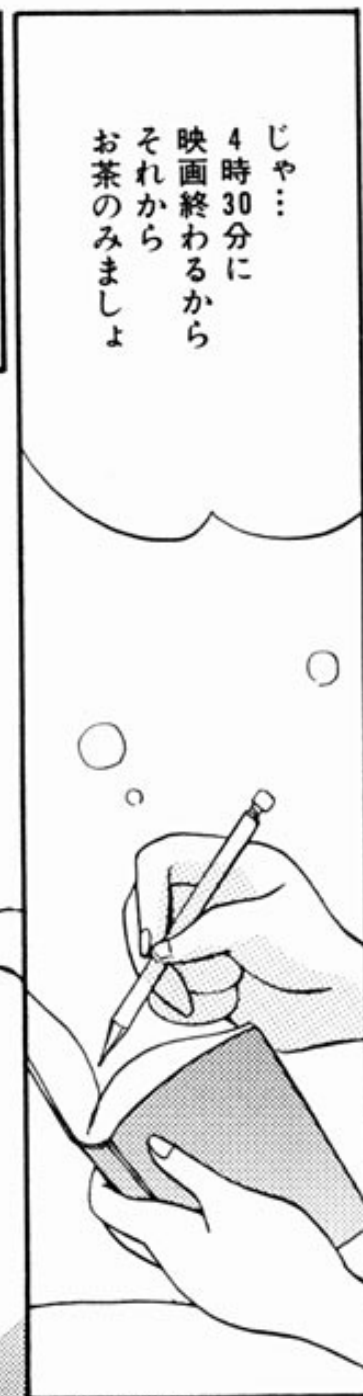
きよはら
清原…
なみ
奈美ちゃん!?

ク
ス
か
あ
あ

ク
ス



う
そ
だ
ろ…





え…
いや…

しぎく
しぎく



なんか坂根くん
あたしと会ってる時
すごく緊張
してない？

そりや
するよ—
ツ!!

そ…
そんなこと
ないよ



はは

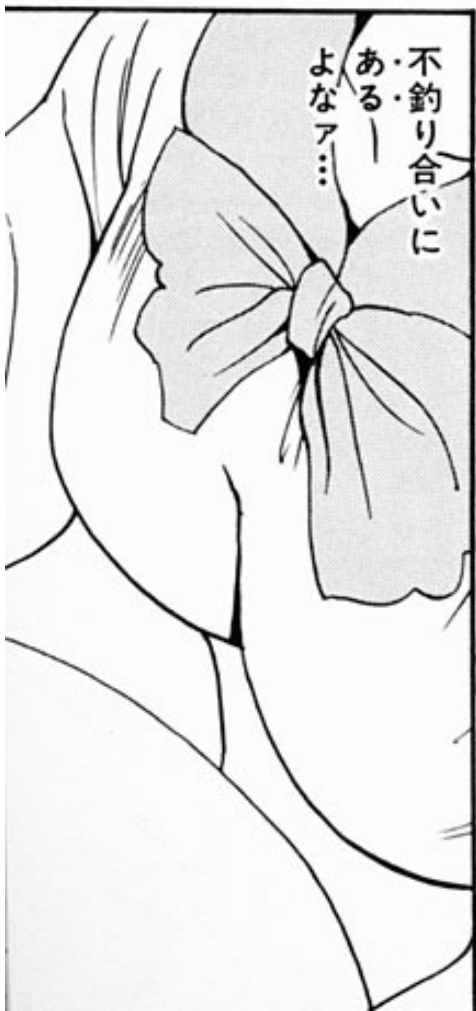
オレと
奈美ちゃんじゃ
何もかも
不釣り合い
なんだもん!!

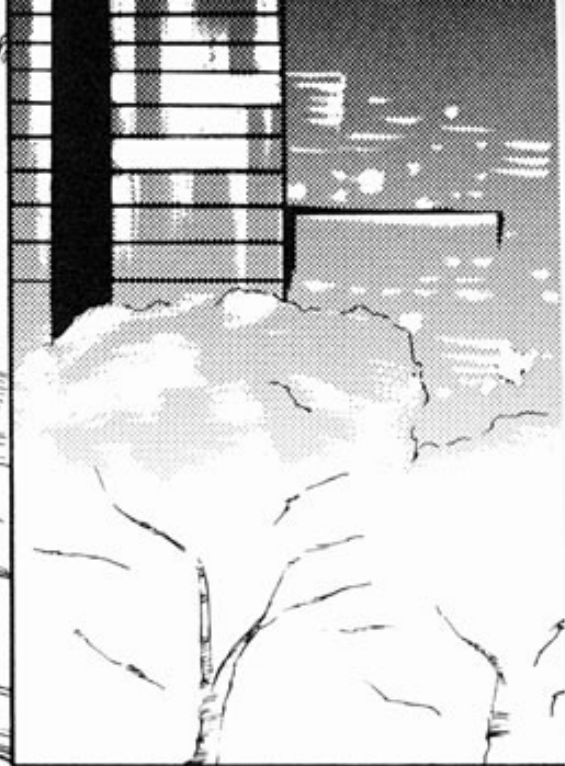
学年一番で
全国でもトップレベルの
秀才で

そう…

おまけに美人!!
オレなんか
気おくれして
声もかけられなかったんだ

不釣り合いに
ある—
よなア…





奈美ちゃん!!

や!!

や!!

きゃッ!!

やだ!!

やだ!!

ダメエ

ッ!!

ダメ!!

ゴッ

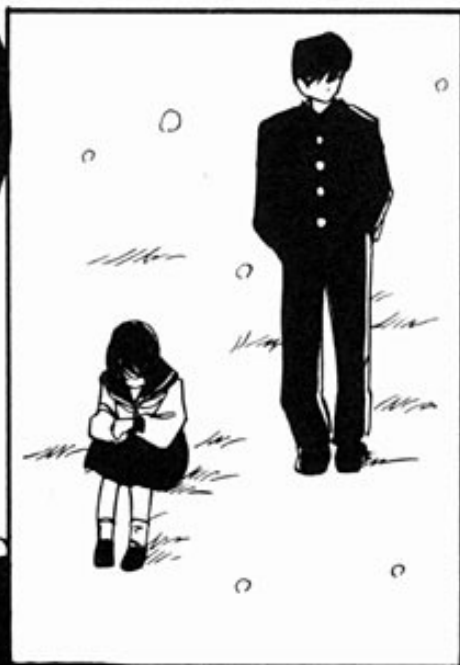


ハートはデリケート



こないだは
ほんとうに
……

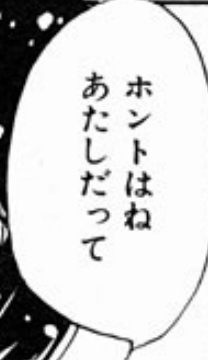
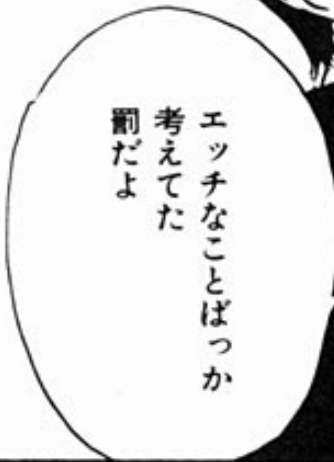
ごめん!!



……
……

やっぱオレには
奈美ちゃんと
つきあう資格
なんてないよ

いつも頭の中
エッチな妄想で
いっぱいなんだ……





あたし
すごく
おくびょうな女の子に
なっちゃった…



小さいころから
「デキがいいね」とか
「しっかりしてるね」とか

そんなことしか
みんな
言ってくれなかつた
から…

だからいつでも
優等生じゃなきゃ
いけないって
思ってた…



こんなに…

好きなのに…



あばれちゃ
うから…

お
お
お

きつと
また



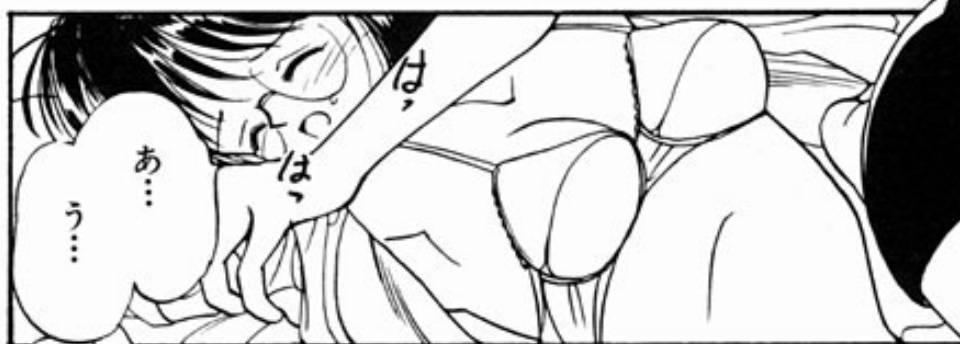
坂根くん
…

そんなこと
しなくて
いいよ!!

うんと
あたしを…

可愛がって…





ダメ〜ツツ!!



奈美ちゃん
……

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



あ…

は…

くすん
くすん



う…
…う…

じゅ
ぶっ



や…やめ…!!

奈美ちゃん!!



あ♡♡

あ♡♡

ふあふあふあふあ

♡♡♡



気持ちいい、見



うれしくてたまらない
あなたとの気持ちいいコト!!

まだ
がまんする？

おっ
おっ
おっ

…へーきたもん

でももう
完全にコリコリに
なってるよ

ホント？

あたし
トオルが言うほど
感じやすくなんて
ないもん

へえー

そんなのただの
生理的な反射
じゃない



するたびに
新しいやかたが
見つかるんだ

こうして
根元からつまんで
クリクリしながら
吸いあげると

あー
眼がウルって
してきた

ね…まだ
へーきなカオ
してたい？

んくッ…

わああッ

こーさん
こーさん!!
ごめんなさい!!

サヤカ
かーわいい

うー



ホラあ
じっと!!
パンザイして

あう...



あ...もう
がまんできない
がまんできない

ホラ

ホラ



どっちが
感じやすいんだか

男の子も感じて
声だすもんだなんて
知らなかった



あううう

ん...



あたしも見つけてる
んだから
ここカブカブ
されると弱いんでしょ

う...



あは
楽勝♡

ふう…

でも
不思議…
考えたこともなかった

「好きだ」って
言われるまで
トオルなんて全然印象
うすかったんだから



まさかこの人が
あたしの大事な初めてを
捧げる相手だったなんて

捧げられたのか？
ボクって？

そうよ

あの時ホントは
もうこんなやつキライって
思ったんだから

「やめて」って2回も
言ったのに
結局やめてくれなかった

……
やめたほうが
よかった？

そんなことしてたら
ひっぱたいてたわよ



開発してあげる

やだあ
そんなとこで
感じるように
なりたくない



やん…
何してるの？



やっぱり
ここが好き？

う…

ん…ふ

知らなかった
ここをそ——っと
なせるだけで
一気に濡れるんだね

あ…今日は
大丈夫？

こないだみたいに
帰る時になって
大あわてすることない

だから…

うん
ちゃんと
替えのパンティ
持ってるから

もっと
ぐしょぐしょに
してもいいの

手のひらで
こうするのはどう

ん…ん…

この内なは？

まだ…
よくわかんない

そこと胸は
ホントに
気持ちいい

入れられるのって
感じるとか気持ちいいんじゃ
なくて
もうキャアアアって
なる

キヤアアア?

だって…
そうなんだもん

じゅっ じゅっ

気持ちいい?

全部開いてきた

あ…

あ…

ここもパクパク
してる

あ…だめだ…

開発されちゃう



あ…
う…

サヤカって
あんまり声
ださないね

ん…Hビデオ
じゃないん
だから…



んッ…

み
み

み

み

う…

ふう…



脚かかえて

はっ

はっ

え？

はあ

はあ

まだ入りそう
なんだ
もつと奥まで





あ...

あ...

てんてん

なんだ
これ!?



おああ…

あう…

あう…

あう…

ああああ…



見つけた!!
ここだ!!

ここが
サヤカが一番
気持ちいい場所だ!!

ああッ

あんッ!



ト...

オル...



サヤカ
イツちやおう

はふ...

このまま
イツちやおう



はあ

はふ...

あ...

はあ

はあ

はうう

うづうづ——ッ

エッチって
するたびに
新しい発見がある

たとえばそれは
エラくなるのに
役に立つようなことじゃ
全然ないけど…

ね…聞いて

あたしさっき
…イく時にね
すごい発見
しちゃったの…

するたびに…

しあわせを
見つけられる

何？

教えて？

だめ！！

やっぱり
教えない





あとがき

どうも、ありがとうございました。
田中エタカです。

今回はスケジュールの関係で、雑誌に掲載されたものがほとんど、そのままの形で載っています。良く言えば、当時の生々しさを伝えるライブ録音盤、悪く言えば、TV放映を収録しただけのセルビデオ……。『人生を取っつこうな!! ありのままだ!!』という新鮮な教訓を胸にしつつ、この本を、お返しする次第です。



はげましの おたおきをくださる皆さん。本当にありがとうございました。口々にお返事を申し上げておられませんか。

From Writer

暖かい応援、身にしみております。これからもがんばります。
吉田編集長、いつもクマとハクツが多く、言うことを聞
かない私を使っていただき、感謝しております。これからも
ズシメに働きます。

☆

この本を

手にと、ていただき、ありがとうござい
ます。少しでも楽しい時間を
すごしていただけたなら、私は
しあわせです。

私はこの仕事が好きです。
また、いつかお会いしましょう。
お元気で!!

'98. 2. 24

田中2夕





気持ちいい発見



田中ユタカ

成年コミック

雄出版



9784946530807



1929979008000

ISBN4-946530-80-0

C9979 ¥800E

雑誌52190-01

定価840円 本体800円

気持ちいい発見



Yutaka Tanaka Presents

